

架け橋



発行 上都賀教育事務所ふれあい学習課

鹿沼市今宮町 1664-1

TEL:0289(62)7167 FAX:0289(62)0148

Email:kamitsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

第3号(令和2年8月)

新型コロナウイルス感染症拡大による全国一斉休校から約5か月が過ぎました。しかし、今後も教育活動や社会活動全般において、「新しい生活様式」を踏まえた実践が引き続き必要とされる状況です。今まで「普通」だったことができなくなったり、「よい」とされた行いが否定されたりするなど、社会通念さえ変化させてしまったこのウィルスに人類社会はどう対処していったらよいのでしょうか。

これまでも社会教育・生涯学習は、社会変化や新課題に柔軟に対応してきましたので、現在では、「新しい生活様式」とされる取組も「新たなスタンダード」として積極的に取り込んでいくことでしょう。そこで、ふれあい学習課では、例年実施の「ふれあい学習推進会議」を「新しい生活様式」を捉えて方法を変更し、今後のふれあい学習推進の手立てとなるよう、従来の委員の皆様を中心に Web・Fax 調査、及び分析等を実施する予定です。調査結果につきましては、改めてお知らせいたします。

「特別活動」から「社会に開かれた教育課程」を考える

中央教育審議会答申（平成28年12月）は、「社会に開かれた教育課程」を実現しようとするとき、子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、“地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること”が重要と述べています。つまり、社会と自校とのかかわりを捉え、社会とのつながりを考えた教育課程の編成やカリキュラム・マネジメントの推進が必要になるということです。

今回は、「社会に開かれた教育課程」について、教育課程の編成や指導計画を作成することを念頭に、家庭や地域等との連携・協力が重要な意味をもつ特別活動（H30～全面实施）を例に考えてみます。

中学校学習指導要領解説「特別活動編」では、指導計画の作成にあたって、「家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する」ことについて、主に次のような内容が記載されています。

- “家庭や地域の教育力を活用すること”
- “地域の自然、文化・伝統を生かすこと”
- “社会教育施設を活用すること”
- “コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の枠組みを活用すること”

等です。（小学校についても概ね同様の内容。）

これらの内容は既に、指導計画に基づき、家庭や地域、社会教育施設等と連携した活動が行われているところですが、次のポイントで評価、改善を図りながら実施していただくことが必要です。

- 地域や学校の実態や特色を生かした計画となっているか
- 社会教育施設等（連携先）と体験や活動を通じた資質・能力育成の手だてや、ねらいは十分に

- 共有されているか
- 各教科、道徳科、総合的な学習の時間との関係が図られているか

さらに、これらのポイントは、学校が、特別活動をはじめ、学校教育活動全般、家庭や地域との連携、また、地域と学校の連携・協働活動に参画するときにも基盤とされる考え方と言えます。

これらのことから考えても、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を併せて実現していくことの重要性を車の両輪に例えるとき、「社会に開かれた教育課程」は、その両輪をつなぐ軸（シャフト）とされるほど“要となるもの”であると言えます。



「地域学校協働活動推進のための地域コーディネーターと地域連携担当教職員の育成研修ハンドブック」p101(平成29年5月)社会教育実践研究センターより

これらのことを踏まえ、ふれあい学習課では、例年「ふれあい学習ネットワーク」で上都賀地区内の社会教育施設や、家庭教育関係団体、社会福祉協議会、民間企業等と学校の連携・協働を推進するための研修会を継続して実施してきました。平成29年度の研修会の際には、各学校宛に、出展いただいた団体等の資料を配布済みです。学校での地域との連携や社会教育施設との活動、企業との連携で参考となると思います。

なお、活動内容に応じた連携先等の紹介も行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

学校と地域が連携・協働するための情報が見られる WEB サイト紹介

「学校と地域でつくる学びの未来」

未来を担う子供たちの豊かな学びや成長を支えるためには、地域と学校がパートナーとして連携・協働することが重要です。このサイトは、文部科学省が運営するものです。このサイトには、国の取り組み、地域と学校が連携・協働した事例、イベントの情報等を掲載しています。

一度御覧になってみてはいかがでしょうか？（スマートフォンでも見られます。）

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/>（文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課）



「文部科学省 コミュニティ・スクール Facebook」

学校と地域がパートナーとして連携・協働し、子供たち、地域の未来のためにできることは……。

文部科学省は、Facebook でも、全国各地の志溢れる取組や素敵なつながりをシェアしています。

学校・地域・保護者・行政がひとつになり、「Vision（目標・志・願い）」「Mission（使命・役割）」「Innovation（改革）」「Passion（情熱）」を持ち続け、手を取り合って子供たちと向かい合っていきましょう。

<https://www.facebook.com/community.school.mext/>

（文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課）



令和2年度「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」について

上記サイトでも紹介されていますが、コミュニティ・スクールの導入拡大や地域学校協働活動の取組充実を図るため、「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」が全国各地で実施されています。本年度は栃木県栃木市内でも実施される方向で準備が進められていますので、お知らせいたします。

なお、本年度のフォーラム開催にあたって、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各フォーラムの定員の縮小や内容の変更等があるかもしれません。御承知おきください。

開催期日・会場及び申込期間

会場	日時	場所	申込期間
愛媛会場	令和2年11月5日（木）	松山市総合コミュニティセンター	9月中旬～10月中旬（予定）
東京会場	令和2年 12月14日（月）PM 15日（火）PM 16日（水）PM	国立オリンピック記念青少年総合センター （東京都渋谷区代々木）	10月下旬～11月下旬（予定）
栃木市会場	令和3年2月5日（金）	栃木市栃木文化会館 他	12月中旬～1月中旬（予定）